

第5回中井町総合計画審議会議事録

日 時	2016年05月20日(金) 13:30~15:30
出席者	資料参照、アルパック：2名 欠席：芦田博行氏
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 新任委員あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 協議事項</p> <p>1) 第六次中井町総合計画基本計画の分野別体系について</p> <p>2) その他</p> <p>5 その他</p>
議 事	<p>●会長、○委員、◎事務局</p> <p>1 開会</p> <p>事務局 ◎金子企画課長より開会のあいさつ</p> <p>2 新任委員あいさつ</p> <p>○新任委員2名より挨拶</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>会長 ●諸坂会長より挨拶</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 第六次中井町総合計画基本計画の分野別体系について</p> <p>・検討経過、今後の進め方について、資料1、2、参考資料にもとづき説明</p> <p>【協議】</p> <p>会長 ●スケジュールを中心とした部分に関して、何かご質問などございますでしょうか。</p> <p>金子委員 ○資料1の策定幹事会、策定委員会の構成メンバーはどのようなものでしょうか。</p> <p>事務局 ◎策定幹事会、策定委員会は町の組織の中で構成をしている検討組織です。策定委員会については、各班長クラス2名程度が参加し審議しております。策定委員会については、課長職以上の組織の中で委員会を開催して協議しているものになります。</p> <p>・総合計画基本計画の分野別体系について、資料3、4、5にもとづき説明</p> <p>【協議】</p> <p>会長 ●資料4について、五次の左側備考欄に書かれている「削除」というものについて、実施計画に移すから「削除」というご説明を頂きましたが、全ての「削除」についてそのような捉え方でよろしいのでしょうか。</p> <p>事務局 ◎全部が事業で管理すべきものだという意味合いではなく、ある程度今までのものをまとめる作業も同時にしておりますので、必ずしも全てを下のレベルに落としたというわけではありません。</p> <p>会長 ●この「削除」という言葉には、下のレベルに落としたという意味合いのものと、町の施策から消えたという意味の2つあるということですね。もちろん、ある程度事業としても完了という次元に至ったので「削除」というものもあったと思います。この辺りで、五次から六次への移行で何かご議論あればと思います。まずは1~3のテーマの中で資料3と4の中からご議論頂けたらと思います。</p>

重田（龍） 委員	○先ほどの事務局からの説明ではわかりません。五次から六次でどう変わったのかわかりません。送られてきたたたき台についても、資料について説明がなく、どう目を通したら良いのかわかりませんでした。
会長	●資料4のところの五次から六次にどう組み変わったかの、各章ごとにもう少し詳しく事務局からご説明頂けたらと思います。
事務局	◎説明が不十分で申し訳ありませんでした。補足資料を配布させていただきます。第2回総合計画審議会でお示しさせて頂いた資料になります。五次は基本施策の数にバラつきがある、担当課の業務がわかりにくい、大小施策のレベル感が合っていないなどの課題に対応するために、第六次では分野別計画として整理しましょうということで、昨年10月14日の審議会で見直し案をご説明させて頂いたのですが、本日その部分を省略した中で今回の資料をご提示する形になってしまい、いきなり飛び過ぎてしまい大変申し訳ありませんでした。ただ今、その資料を配布させていただきます。資料4について補足説明。
会長	●六次の計画では体系について、担当所管の課がわかるような形で整理されている印象を受けました。
早野委員	○大きな省庁であれば、今会長が言われたようなことも分かるのですが、中井町の規模では一つの課でまたがって仕事をしていると思います。職員も一人がいろいろなことをしているので、これからもそうした方向で進んでいくことを考えれば、国の省庁ベースで考えることに疑問があります。総合計画は職員がやりやすいような体系作り、事務の分担というのではないと思います。五次の計画は地方分権などが出てきた時代に計画策定したものであって、2年くらい前からは地方創生なども出てきていますから、分野別の仕方は良いと思いますが、あまりにも五次を意識すぎて策定しているのではないかと感じました。五次の方がわかりやすいと思います。
会長	●五次の構成については、わかりにくいという意見はあったのでしょうか。
事務局	◎この改定にあたって進捗を確認していく中で、分野別体系で整理をしたほうが責任の所在がより明確になるとわかりやすさを追求した上で、今回考えさせて頂きました。
小松委員	○町の中の仕事を知らない素人が見た時に、六次のほうがわかりやすいと思いました。
重田（龍） 委員	○所管課がどこであろうとそれは町の中の組織のことですから、総合計画の内容については、それぞれの施策に様々関係してくる所管課は見ないで議論したほうが良いと思います。
早野委員	○総合計画の内容については、重田委員が言われたとおりだと思います。
事務局	◎皆さまにお示しした基本計画のたたき台には担当課を記載させておりますが、総合計画となった場合には出てきません。今現在の資料には検討漏れのないように記載させて頂いております。
事務局	◎五次では基本構想で使われているキーワードが基本目標、タイトルも目標像を示しながらキーワードが使われているということもありました。今回は計画自体をわかりやすくすること、分野別体系については、分野をわかりやすくすることが第一目標となって整理されたものとお考えいただけたらと思います。
会長	●資料3の構成については、本日で固めたいと思っています。6月以降は資料5の細かなところに進んで行くこととなります。先の段階で資料3の議論に戻ることは難しいので、本日は資料3を重点的にお願いします。
会長	●六次の段階で新規追加されたものについて、事務局から説明はなくて良いでしょうか。
事務局	◎「新規追加」については、今までになかったものだけではなく、今まであったものの組み替えや表現方法の変更などでも、「新規追加」とさせて頂いているものがあります。
小宮委員	○基本施策、大施策、小施策が表現と意味的にも重複しているものがあるのではないかと感じます。
事務局	◎庁内でも同じような意見がございまして、現在考え方を整理した中で修正したものをお示したいと考えています。

小宮委員	○例えば、「自然」に関して何かアイディアはあるのでしょうか。今後やっていくことは今までに出てこなかった言葉を使っていきたいのではないかと思います。そうすると曖昧な表現をするよりは具体的に示したほうが良いのではと思います。
事務局	◎どういう言葉が適切なのかということについては、現段階では候補があるわけではないので、ご意見としてご提案頂けたらと思います。
事務局	◎先ほど補足資料として配布させていただいた、見直し案の考え方という資料の上段⑥をご覧いただけたらと思います。環境問題については基本施策をここにある4本柱に沿う形で組み替えています。その上で文言など修正をかけていく考えになります。
熊谷委員	○資料3と資料5を一緒に見ると、到達点がわかりません。やるからにはどこを目標として、それが上手くいった、いかなかったという評価が必要になりますので、どういうことで評価するのでしょうか。
事務局	◎五次の基本計画の中でも成果目標として数値を設定している項目と、していない項目があります。また、全ての施策が数値化できるものばかりではないので、難しい点もございます。この基本計画は町の中の最上位計画に位置付けられるものですが、この下にある各種個別計画の中で具体的な施策目標や数値を設定して、管理をしていくという整理の仕方になっております。
重田（明）委員	○各種個別計画の目標や数値については、この審議会では見られないということですか。例えば、自然生態系の維持管理、荒廃農地の問題などについても、本気で取り組むのであれば専門家などと現状評価をして、研究していくことをしていかなければ、絵に描いた餅になってしまうと思います。具体的なものがなければ、町の良さを継承できないと思います。
咲間委員	○削除について、なぜ削除したのか理由がわかりません。本当は必要なものも削除してしまっているリスクがあるのではないかと感じてしまいます。状況がわからない状態で、体系を固めるということは怖いと思います。
重田（龍）委員 会長	○説明不足なのではないでしょうか。 ●本当の意味での削除だけでも今ピックアップできますか。完全な意味での削除は現実的にはありえないと思います。
咲間委員	○どういう事情で削除されたのか理由がわかれば安心できます。
小松委員 会長	○町の大きな方向性を決める計画について、細かいことを突っついてはもとまらないと思います。細かいことをここで話すのであれば、もっと時間がないと決められないと思います。 ●基本分野、基本施策、大施策について中心にご議論頂けたらと思います。
早野委員	○削除されたものは、他の項目で書かれているところもありますが、そうした説明がないので不安が生まれてしまうということだと思います。
事務局	◎「削除」などについては、再度見やすく整理させて頂きたいと思います。
金子委員	○商工会の立場からすると、たたき台案の中の小施策で「商工振興会と連携」という表現が出てきますが、商工会の場合、役所の担当課が明確なので、役所の方から積極的に参加してきていただきたいと思います。また、「活力」「快適」「安心」につなげていくということであれば、熊谷委員がおっしゃったように指標のようなものが必要だと感じます。
廣澤委員	○先ほど配布された資料の⑥環境政策の4本柱ということで、地球環境問題・生物多様性・公害対策・廃棄物処理と書かれているが、生物多様性や公害問題、廃棄物処理も地球環境問題に含まれてしまうのではないのでしょうか。地球環境問題とは地球温暖化のことではないのでしょうか。
事務局	◎この資料は基本計画検討にあたって作成した説明用の資料で、現在の体系ではこの部分は修正されています。

小宮委員 事務局	○自治基本条例の推進とありますが、これはどういう意味でしょうか。 ◎自治基本条例は平成26年に施行しているもので、協働の理念なども定めているものです。
小宮委員 会長	○「条例」は推進するものなののでしょうか。 ●条例を実効的に具体的に制度化していく、実効性を担保していくということでしょうか。
小宮委員	○どう推進していくかが重要ということですか。
早野委員 会長 事務局	○総合計画よりも上位のものであれば、推進はおかしいですね。自治会との連携とかそうしたものが良いのではないのでしょうか。 ●実効性の担保とか、現実具体的な活性など言葉を変えて頂ければ良いと思います。 ◎普及促進など言葉は修正検討したいと思います。自治基本条例という言葉は残しておきたいというのが事務局の思いとしてはあります。総合計画と自治基本条例が町を良くしていく大きな施策として、大きな車の両輪として将来の自治や町のあり方を示していくという考え方になっています。実効性の担保、参加、協働などについては、総合計画の中で「まちづくりの進め方」という章を設けて、基本構想の理念を踏まえたまちづくりの実効性確保を述べていく、という構成になっているとご理解頂けたらと思います。
早野委員 会長	○超高齢化時代に入っていて、計画分野2「健康・福祉」、基本方針2-3「地域で支え合うまちづくり」、大施策2-3-1「高齢者保健福祉の充実」、小施策1「介護保険事業の円滑な運営」については国の制度があるので、それよりも地域包括支援センターなどの充実をあげてもらった方が良いと思います。 ●今のことと「地域福祉計画」とは次元が違いますか。
早野委員	○地域福祉計画は5年ごとに町が定めたもので、それにもとづいて社会福祉協議会が行動計画を5年ごとに見直す状況です。今高齢化社会に向かって一番大切なのは、包括支援と介護予防になります。
咲間委員 事務局	○計画分野6「防災・防犯」、基本方針6-1「災害に強いまちづくり」、大施策6-1-2「防災体制の充実」、小施策2「災害弱者への支援」というところで、「避難行動要支援者」という言葉と「避難行動支援者」とあったりするので、統一した方が良いと思います。 ◎法律が変わりまして、以前は「災害時要援護者」だったもので現在防災計画ではまだ表現が変わっていない部分があります。本来は統一していきたいと思います。
重田（龍 委員 事務局	○言葉については製本化していく中で、町としての考え方は整理して統一していくべきではないでしょうか。 ◎今後担当課と調整したいと思います。
重田（明 委員	○遠藤自治会のセブンイレブンの駐車場は悪所になっているくらい酷いです。青少年の育成を町としてしっかり規制していくためにも、こうしたことをどこかに入れてほしいです。
重田（龍 委員	○条例で規制することは考えられますが難しいと思います。昔は自販機の問題などもありましたが、今はだいぶ減っているのは、条例での規制だけでなく、社会情勢の中で撤去されていったという現実部分もありますから、そうしたことを総合計画の中で入れるのは難しいと思います。
重田（明 委員	○表現の自由や芸術などという問題にもなりますから、難しい問題だと思います。
重田（龍 委員 会長	○資料5はどう扱ったらいいのでしょうか。これはそのまま総合計画に載るのでしょうか。 ●このまま載るわけではありませんが、使われます。今日は資料3までのご議論でお願いします。
小宮委員	○資料3の中、「5産業・観光」の中に、グリーンテクなどについて盛り込まれていないのですが、今後推進すべきものの一つだと思いますがいかがでしょうか。
事務局	◎資料3の項目として、入れた方が良くということでしょうか。

小宮委員	○企業誘致などはまず第一歩目で、それで終わりではなくその次のステップが必要だと思います。駅と会社の往復だけでなく、通過する中井を知らずに帰ってしまう現状を打破する2歩目を考えたら良いのではないかと思います。
会長	●企業誘致の後どうするかということについては、いろいろなところに散らばってしまっているのではないかと思います。
小宮委員	○中井と二宮の区別もつかない人がいます。中井に住んでグリーンテクに通勤するには交通機関がないので、まず半歩でも良いから何か初めてほしいです。
金子委員	○商工会とグリーンテクで連絡協議会などもあったが、なくなってしまってコミュニケーションが取れなくなっている部分もあります。
会長	●そうしたことを、小施策として掲げるかどうか、増えてしまうということも問題になるので、難しい点です。
重田（龍）委員	○昼夜間人口の話につながるといいます。夜間人口だけでなく昼間人口にも焦点をあてて、交流をもっと深めていく必要があると思います。行政として各企業に中井町をPRしていく必要もあり、改善していくことは多々ありますが、町が動かないと商工会も動けません。町も企業の従業員の方向を向いていることを示すことが必要だと思います。事務局で検討して頂いて、どこかの項目に入っているということが分かればと思います。
会長	●事務局の方で、計画の中のどこかに追記して頂ければと思います。
廣澤委員	○計画分野2「健康・福祉」、基本方針2-3「地域で支え合うまちづくり」、大施策2-3-2「障がい福祉の充実」、小施策2「精神障がい者等福祉の充実」というところですが、あえて書く必要があるのでしょうか。
事務局	◎主幹課と再調整させていただきます。
会長	●本日の資料3第六次基本計画について、大枠を精査し進めるという形でよろしいでしょうか。（一同了承）
協議事項（2）その他	
・今後のスケジュールについて説明	
【説明】	
事務局	◎意見修正フォームをお配りしておりますので、何か気になる語句などございましたら5月31日までにご記入頂きご提出頂ければと思います。今後は重点プランについてご議論頂こうと思っていますので、ご協力お願いいたします。また、まちづくりカフェの開催なども行ってきましたので、こうした町民の方々の成果を何か形に残せればと思っております。事務局案が固まり次第皆さまにお示しさせて頂きたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
○資料5については、次回やるということで良いでしょうか。	
◎次回から重点プランとたたき台案資料5について、ご議論お願いいたします。	
事務局	5 その他
◎昨年度決めて頂いた将来像「里都まち」という言葉を積極的にアピールしていきたいと考え、現在商標登録を特許庁に申請しているところです。	

以上